

会議録

会議の名称	令和４年度 第４回西東京市地域公共交通会議
開催日時	令和４年12月27日（火）午後２時00分から午後３時30分まで
開催場所	西東京市役所 防災・保谷保健福祉総合センター６階講座室２
出席者	【委員】古厩委員（会長：まちづくり部長）、岡村委員、関根委員、畠山委員、米澤委員、小河委員、清家委員（代理 田中委員）、松村委員、桑島委員、滝沢委員、渡辺委員、蓮見委員、岩澤委員、鈴木委員（代理 中川委員）、飯箸委員 【事務局】長塚交通課長、本庄係長、石部主査、高山主事、河野主事、田中主事
議題	西東京市地域公共交通計画の策定について ①西東京市の現況整理について ②交通事業者調査について
報告	はなバスの乗降調査とアンケート調査結果の中間報告について 令和４年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）
会議資料の名称	《説明資料》 資料１－１ 西東京市の現況整理について 資料１－２ 西東京市地域公共交通計画策定 事業者調査（案） 資料２ コミュニティバス乗降調査等結果報告書（案） 資料３ 令和４年度西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
１ 開 会 ○会 長： 会議開催にあたり、西東京市地域公共交通会議設置要綱第６第２項に規定する定足数、委員の過半数を満たしていることを報告する。 議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第７の規定により、会議録も含め、原則公開となっている。公開でよろしいか。 ～全員賛成～ ○会 長： それでは、本日の会議については原則どおり公開とする。 ２ 議 事 議題 西東京市地域公共交通計画の策定について ①西東京市の現況整理について ○会 長： 議題（１）の①「西東京市の現況整理について」事務局より説明を求める。 ○事務局： 説明の前に、今後の調査に会議のご意見を反映させるため、今年度市が	

計画策定業務を委託する株式会社ライテックの担当者を入室させたいがよろしいか。

○会 長： 計画策定業務を委託する株式会社ライテックの担当者を入室させてよろしいか。

～全員賛成～

○会 長： それでは、株式会社ライテックの担当者の入室を認める。

～株式会社ライテック入室～

○事務局： 資料1－1により、西東京市の現況整理について説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委 員： 14ページの民間バスの利用実績について、例えば田42など西武バスの系統番号が正しくない路線がある。また、複数の路線が走っている系統は、合算された運行本数になっているため、1便あたりの利用者数の示し方は注意したほうが良い。「主な路線別の利用実績」としたほうが良いと考える。

○事務局： 資料修正させていただく。【会議資料修正反映】

○委 員： 3ページ、5ページの人口分布、駅から離れた地域で人口が集積とあるが、大規模な団地やマンションが立地しているからだと思う。そうした団地やマンションの立地状況等を明示した良い。また、大規模な団地は新しいところと古いところがあり、そうした特性により居住者の年齢構成なども異なってくるので、そのあたりを考慮できると良い。

○事務局： ご指摘を踏まえ、検討したい。

○委 員： 上位・関連計画などの整理において、公共交通との関連が深い立地適正化計画が抜けている。立地適正化計画の施策との連携については、地域公共交通活性化再生法において可能な限り記載することが望ましい事項とされているため、できれば記載した方が良い。

○会 長： 26ページに記載している都市計画マスタープランの策定と並行して、現在立地適正化計画の策定を進めている。最終的には示していきたい。

○委 員： 承知した。

○委 員： 市民の交通特性について、データを活用した分析があるが、徒歩や自転車を組合せた移動はどのように扱われているのか。

- 事務局： 18ページの用語説明に記載の通り、パーソントリップ調査では、ひとつの目的の移動の中で複数の交通手段を利用している場合、主な交通手段を「代表交通手段」として捉え、集計されている。
- 委員： 複合的に捉えられているということで承知した。
- 委員： 21ページの鉄道駅の乗降状況において、端末交通手段の特性を分析する目的は、公共交通空白地域への補填を考えていくため、ということか。
- 事務局： ご指摘の通り、公共交通空白地域への補填の検討に加えて、交通結節点のありかたの検討に活用できると考えている。
- 委員： 公共交通空白地域の検討をする場合、この地域に住んでいる人はこの駅を活用する、という前提で考えていくのか、それともアンケートから見ていくのが良いのか、アンケートがどれほど抽出されているかにもよるが、どう考えているか。
- 事務局： 市民アンケートでは、どの地域にどれくらいアンケートを配布しているか捉えているので、各地域からのデータが得られると考えている。
- 委員： 承知した。
- 委員： 27ページの赤字で囲ってある「持続可能な公共交通ネットワークの整備」に、「公共交通空白地域への民間バスへの要請」とあるが、一般の路線バスを指すのか、コミュニティバスを指すのか、どちらか。
- 事務局： まずは民間のバス事業者に検討いただいて、それが叶わなければ、コミュニティバスやその他の移動手段を検討することを考えている。
- 委員： そうであれば、あえて“民間バス”と書かなくても良いと思う。表現は検討いただきたい。
- 会長： 他にもお気づきの点があれば、事務局へ連絡いただきたい。

議題 西東京市地域公共交通計画の策定について ②交通事業者調査について

- 会長： 議題の（１）の②「交通事業者について」事務局より報告を求める。
- 事務局： 資料１－２により、交通事業者調査について説明。
- 会長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

～意見等特になし～

○会 長： 特に意見等がないということで、このまま進めさせていただきたい。修正等があった場合は、事務局が反映したものを会長、副会長で確認し、調査票案としてまとめたいと考えているが、ご一任いただけるか。

～異議なし～

○会 長： 異議ないようなので、そのように進めさせていただく。

○会 長： 報告事項に入る前に、西東京市地域公共交通会議設置要項第2第3号の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に規定する地域公共交通計画の作成又は変更及び実施に関する事」に関する内容はここまでとなる。これ以降の参加は任意となるので、ご都合のつく方は引き続き出席いただきたい。

報告事項 はなバスの乗降調査とアンケート調査結果の中間報告について

○会 長： 報告事項「はなバスの乗降調査とアンケート調査結果の中間報告」について、事務局より資料の説明を求める。

○事務局： 説明の前に、今後の調査結果のとりまとめに会議のご意見を反映させるため、今年度市が調査業務を委託する株式会社高島テクノロジーセンターの担当者を入室させたいがよろしいか。

○会 長： 調査業務を委託する株式会社高島テクノロジーセンターの担当者を入室させてよろしいか。

～全員賛成～

○会 長： それでは、株式会社高島テクノロジーセンターの担当者の入室を認める。

～株式会社高島テクノロジーセンター～

○事務局： 資料2により、はなバスの乗降調査とアンケート調査結果の中間報告（①乗降調査）について説明。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委 員： 平日の第3ルートで、鈴木街道で人が多く乗り降りしている。このあたりは事務本部や武蔵野徳洲会病院があり、ここへの通勤で使っているように思える。もう少し詳しく分析してみると良い。

○会 長： 他になにかあるか。

- 委 員： 目視で数えた実人数と、調査票を渡して返ってきた票の割合はどれくらいか。例えば、朝の通勤利用者の回収率が低いとか、高齢者の回収率が高いなどの特徴があるなら、データの読み方が変わってくる。
- 事務局： 詳細な数字は抑えていないが、感覚的には8～9割は回収できていると思う。
- 会 長： その他いかがか。ないようであれば引き続き資料の説明を求める。
- 事務局： 資料2により、はなバスの乗降調査とアンケート調査結果の中間報告(②利用者アンケート)について説明。
- 会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。
- 委 員： これだけのボリュームの設問の調査を、バスに乗っている間に聞けたのか。バス車内で質問やクレーム等はなかったか。
- 事務局： この調査は、バス車内で調査票をお渡しし、一度持ち帰っていただいて、返送用封筒で返送いただくか、webで回答いただく方式をとった。調査実施中に、バス車内でのクレームやトラブルは特になかった。
- 会 長： その他いかがか。ないようであれば引き続き資料の説明を求める。
- 事務局： 資料2により、はなバスの乗降調査とアンケート調査結果の中間報告(③市民アンケート)について説明。
- 委 員： ②利用者アンケートの郵送とwebの回収率がないので、③の市民アンケートと揃えてほしい。
- 事務局： 両方載せるようにする。
- 委 員： ダイヤの利用のしやすさとは、どういう意味か。
- 事務局： アンケートからは詳細は聞き取れていないが、電話等で市に問合せいただく際には、通勤の電車との接続が悪いなど、個人の予定と合わないという声は聞いている。
- 委 員： そのような個人の要望にすべて対応していくのは難しいと感じた。
- 会 長： 全体通じて何かあるか。
- 委 員： はなバスの第4北ルートの利用者数が少ない状況で、今後何かテコ入れが必要だと感じているが、具体的にいつごろ実施するのか、考えはあるか。

○事務局：　　まずは地域公共交通計画を策定してからになる。具体的な施策を取り組んでいくのは令和6年度以降と考えている。

○会　長：　　報告案件は以上になる。

報告事項　その他について

○会　長：　　その他「令和4年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）」について、事務局より資料の説明を求める。

○事務局：　　資料3により、令和4年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）について説明。

○会　長：　　それでは、以上をもって令和4年度 第4回西東京市地域公共交通会議を閉会する。

以上